

2023年2月9日

新刊ニュース

マルセル・デュブレ作曲のオルガンのための大曲 **Le chemin de la croix, op 29** 「十字架の道行き」の楽譜を購入しました(Durand 社)。本科卒業生でもあるオルガニストの山田早苗さんによる同曲の CD (所沢市民文化センター・ミューズ アークホールで収録) が発売され、寄贈を受けましたので楽譜と共に展示しています。道行きは人と神が織りなす根源的ドラマを内包するため幾多の作曲家によって作曲されてきました。またこのカトリック教会にも 14 留の道行きの造形がみられます。14 のシーンに切り取られた音画のように、音の回廊を歩くように曲は進められます。まさに音による黙想です。四句節を迎えるにあたって是非心にお留め置きください。

最後に同じくデュブレの 79 のコラール、op 28 より 12 番 ; Christ lag in Todesbanden(キリストは死の縄目につながれたり)、25 番 : Erstanden ist der heil'ge Christ(聖なるキリストはよみがえり給えり)、47 番 : Komm, heiliger Geist, Herre Gott(来たれ聖霊、主なる神)が加えて演奏されます。聞きなれた親しいコラールの旋律を聞くことによって着地点が与えられ、十字架の向こうにある復活の栄光と聖霊の降臨を含め救済史的完結が表現されます。いずれもルター派のコラールですがこれらの聖歌はドイツのカトリック教会の聖歌集にも所収され、宗派を超えてキリスト者を一致させる力があります。

同じデュブレの受難—復活をテーマにした大オルガンのための作品に **Symphonic-Passion, op 23** もあります。資料室には今回紹介した曲のほかにすでに 12 冊のデュブレのオルガン作品を揃えていますのでどうぞご利用ください。

*Méthode d'Orgue

*79 Chorales, op 28

*15 pueces for organ founded on antiphon op 18

*8 Short Preludes on Gregorian Themes for orgue, op 45

*Esquisse poue orgue, op 41

*6 Antiennes poue le temps de Noël, op 48

*Variations sur un Noël, op 20

*Cortège et Litanie

*Symphonic-Passion pour grand orgue, op 23

*Le tombeau de Titelouze; 16 Chorales pour orgue, op 38

*Choral et fugue pou orgue, op 57

*3 Préludes et fugues, op 7

(杉本ゆり 記)